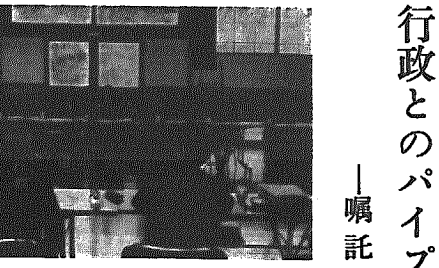
行政とのパイプより太く円滑に

―嘱託員会議開く―



新年度予算の成立をうけて今年度の重要施策や主要事業等の説明をする一方、これらの行政運営を円滑に進めるため、さる四月十四日公民館で嘱託員（区長）会議を開催しました。

会議には村長以下課長等も出席し、渋谷村長からは五十五年度の重要施策に渡っての説明及び、役場と住民のパイプ役並びに地区のまとめ役としての協力要請が、建部助役からは予算の大綱主要事業の説明がありました。

特に今回は、村落特対事業（略称）の一環として横越農協が計画している「有線放送改良事業」について、農協坪谷事務の出席を願って事業概要の説明をして頂きました。

これによると、従来の通話主体からプログラムによる放送が主体となり、村の行政広報もプログラムに組み入れられるほか災害の緊急時には、役場から直接放送もでき又、村内十か所位の地区別に単独放送ができる等々画期的な広報形態が確立するとされています。今後この事業の推進に当っては、村と農協一体となって嘱託員等を中心とし、各団体等にも説明会を開くこととしています。

このほか嘱託員からは、地区の問題点、村に対する意見や要望が提起され、村長はじめ各担当課長等との意見交換が図られました。なお、提起された主なもの（要旨）は次のとおりです。

◎除雪の捨て場に工夫を
◎掲示板の補修を
◎子供の遊び場に村道解放を
◎住宅団地の排水路、公園整備を
◎交通安全補導に組織機能を生かしたリードを
◎小阿賀提防の管理（清掃）に県費の手段と各字配分を
◎役場に来客用雨具掛を
◎街灯の増設と電灯料の助成を

国勢を考える

国勢調査のはなし

国勢調査の「国勢」を、「国の勢い」あるいは「国の勢力」というふうに解釈している人が、意外に多いといわれます。しかし、それは誤りです。

国勢調査という言葉は、もともとと英語のセンサス（Census）の訳語ですが、これもすんなり決まったわけではなく、これに落ちつくまでには、さまざまな経過をたどりました。

年代順に見てみましょう

人口取調之法	明治6年
人口大検査	明治7年
現在人別調	明治15年
民口調査	明治22年
国勢大調査（または国勢調査）	明治26年
民勢大調査	明治29年
国勢調査	明治29年

このように、初めて「国勢調査」という言葉が登場したのは明治二十六年で、ある学会誌に発表された個人の論文に見られるものです。

一方、半ば公式に使われた最初は明治二十九年で、四人の衆議院議員が提出した「国勢調査執行建議案」がそれです。

その後も「民生調査」「人口調査」など、いろいろ用いられましたが、明治三十五年国勢調査に関する法律が成立して、明治六年以来三十年間にわたる〝曲折〟に終止符を打ったのです。

さて、国・勢の意味ですが、さきにあげた国勢調査執行建議案には、次のように書かれています。

「国勢調査は全国人民の現状即（すなわ）ち、男女、年齢、職業、身上の有様―中略―につき精細に現実の状況を調査するものにして一たびこの調査を行うときは全国の情勢、これを掌上（しょうじょう）に見るを得べし」

この建議案から、国勢とは、国の勢いでも国の勢力でもなく、正しくは、国の情勢であることがわかります。

電話のむこうはどんな顔

―福祉電話の架設―

現在ひとり暮らし老人世帯（九世帯）で、電話の設備が全くない世帯が三世帯あります。

以前から、ひとり暮らし老人から、非常用ベルや電話等を設置してもらいたいという要望もあり、また、安否等も気がかわれていました。そこで村では、それら三世帯に老人福祉電話を架設する運びとなりました。

この福祉電話は、電話等の設備が全くなく、おおむね六十五歳以上の低所得のひとり暮らし老人で安否の確認が必要と認められる者に対して、村が無料で貸与するものです。

また、電話の活用については、民生委員、保健婦、老人クラブ会長等の協力を得ながら電話を通して安否の確認や各種の相談及び助言を行っていこうとするものです。

ところで、四月二十四日に左記の三世帯にそれぞれ架設しましたので地域住民の方々からも電話訪問についての御理解御協力をお願い致します

沢海上　伊藤玉木　電話三七七一
小杉上　辻島フイ　電話三七七二
藤山　矢代タカ　電話三七七三

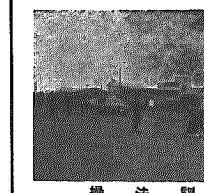
どうぞよろしく

昭和55年度嘱託員（区長）55.4.1

地区		氏名	世帯数	人口
横越	上	伊藤又七	121	604
	中	五十嵐要栄智	266	1,134
	下	◎羽田義次	164	742
	川根谷内	○渡辺敬二	179	756
沢海	上	○伊藤松枝	103	488
	中	渋谷健作	105	498
	下	田中長平	85	409
	焼山	陸庄俏	33	156
木津	上	佐藤千代志	55	260
	中	○小野塚良実	87	439
	下	今井朝一	89	412
二本木	上	若生二郎	58	272
	中 一般		179	700
	中 山崎パン	○仲村秀文	88	92
	下	藤崎正一	54	258
小杉	上	小舟戸桂二	80	405
	中	○遠藤左一	60	313
	下	横野吉栄	59	275
藤山		串田宗男	45	237
駒込		和澄敏雄	28	141
十二前		一	2	11
計		19	1,940	8,602

○…代表区長　◎…連合区長

横小体育館で春季連合消防演習



操法訓練

村の消防団では、毎年一回春に各分団が一同に集まり消防演習を開催していますが、今年も四月六日にこの演習がおこなわれました。

午前六時、役場のサイレンをあいずに、八時から横小グランドで開催する予定が、雨になり、体育館で開催されました。

この日、来賓として村長はじめ議会議長、亀田町消防署長、団長、そして南警察署長等を迎え、式の中で退団される団員、新入団員らに、村長や、団長からそれぞれ感謝状と任命書が各団員に手渡されました。

また、このあと放水訓練等を予定していましたが、雨で出来なくなりました。それでも小雨の中グランドに出て、昨年県大会に出場した第二分団機動班（沢海）の小型ポンプ操法の模範演技がおこなわれ、そのあと各分団に別れて操法訓練を実施しました。

産育資金融資の改訂について

昭和五十五年度地方産業育成資金の融資条件が、四月一日より左記のとおり改正となりますので、利用者は留意の上ご利用下さい。

	現行	改訂
貸付利率	信保付 年5.75% その他 年6.25%	信保付 年6.25% その他 年6.75%
預託利率	信金信組 年1.37% その他 年1.87%	信金信組 年1.62% その他 年2.12%
貸付限度額	300万円	現行どおり
貸付期間	2年	2年

老人が仲良くなれる老人のためのスポーツ

講習会日程

時間／月日	午前10時～11時30分	午後1時30分～3時
5.22(木)	木津分館	沢海分館
5.23(金)	横越公民館	小杉分館
5.29(木)	木津分館	沢館分館
5.30(金)	横越公民館	小杉分館

利用して下さい！特殊寝台を

村では在宅福祉の一環として、ねたきり老人用ベット（特殊寝台）を新規に二台購入しました。

これは、ねたきり老人本人が快適な療養生活を送れるようにするためと養護者の負担を軽減するためで、おおむね六十五歳以上のねたきり老人に貸与するものです。貸与を希望される方は、役場住民課まで申込みください。

おめでた

（3月の出生）

新生児	親名	地区
神田智	勝利	横越中
鈴木圭輔	文男	二本木中
酒井知恵子	勉	二本木上
酒井明美	平一	木津下
陸大祐	守夫	沢海下
五十嵐毅子	二男	横越中
山城浩美	隆次	横越中
河内智人	陽一	沢海上
曽我史人	廣樹	横越中
松本剛士	富士夫	沢海下

おくやみ

（3月の死亡）

故人	年令	地区
茅原ミセ	77	横越下
仲村マツエ	47	二本木下
佐藤作吉	86	小杉中
加藤マスミ	69	横越下
石井彦石	75	横越下
松原虞	82	沢海上
江口ヨセ	86	木津下

およろこび

（3月の結婚）

新郎	新婦	地区
佐藤正則「天野」	みち子	新二本木市
松本米吉「岡」	和子	新沢海市
小野塚則「浅野」	子稔	加木津市
高橋健「村山」	英子	茂津市
川根谷内弓「鈴木」	子	新川根谷内市
杵渕義「木」	節子	横越上中

5月保健衛生業務予定

日	曜	時間	内容	対象者	会場	対象
15	木	午後1.30～2.30	三種混合第1期	昭和52年4月1日～昭和53年3月31日生	横越村公民館	全村
19	月	〃	ツベルクリン反応検査	昭和54年2月1日～昭和55年1月31日生	〃	〃
21	水	〃	BCG	〃	〃	〃
22	木	〃	1歳6か月児検診	昭和53年9月1日～昭和53年11月30日生	〃	〃
23	金	午前10～午後4.00	献血	満16歳以上64歳までのもの	山崎製パン工場	〃
27	火	午後1.30～2.30	乳児検診	昭和54年5月・10月・昭和55年2月生	横越村公民館	〃
29	木	午前9.30開始	離乳食講習会	昭和54年12月1日～昭和55年1月31日生	〃	〃

横越村の人口

（55年3月末現在）

総人口8,602　うち男4,193　女4,409

世帯数 1,937世帯

3月の動き　出生10　転入53　死亡7　転出43